

日本漢方交流会 学術部主催 第13回 冬期合宿講習会

ご案内 (第2弾)

テーマ： 『漢方医薬学の実践』

日時： 令和3年 1月 10、11日 (日、月 連休) 1泊2日

場所： “ホテルビナリオ嵯峨嵐山” (旧コミュニティ嵯峨野)
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町 3-4 TEL (075) 871-9711
最寄り駅： JR 山陰線『嵯峨嵐山駅』

費用： 交流会会員 1万8千円 (1泊4食付)
一般 2万1千円 (1泊4食付)

定員： 65名 (残席15 10月26日現在)

講師： 元日本漢方交流会理事長 真鍋 立夫 先生

* 漢方薬生薬認定薬剤師制度 (必須研修 6単位 予定)

COVID-19の拡大のために、社会生活が抑圧され、各催事が中止、または延期の方向になっております。そのような中で宿泊、食事を兼ねた合宿講習会を開催する事に、理事の大方は難色を示しておりました。ですが、我々は未病を治す事のできる薬系漢方家です。国民の指導的な立場であるべき我々が、一般の方のように恐れていることはありません。今こそ、漢方医薬学の正当な「証」を取ることで、この混乱した社会にお役に立てるはずです。実行委員長の立場ではクラスターを出すことなく、無事終了させるように準備を周到にし、開催させていただくことに相成りました。

この合宿講習会の特徴は、漢方医薬学の本筋を感じ取り、経験豊かで、患者様方に評価されている薬系漢方家に講師をお願い致しております。よく例えられるのが登山です。頂上を目指すには1つのルートだけではなく、いくつかのルートがあります。それと同様に、治療効果を得るのに画一的な1つの方法だけではなく、患者様の病態の捉え方、治療の手順などは、漢方家により様々です。時間差はあっても各々登頂は達成できます。それを踏まえて、講師の治療の方程式にあたる「陰、陽」、「虚、実」、病態の捉え方をご講義いただき、そして実際の「証」の取り方を学習します。又、我々薬系漢方家は改善された肉体、精神を数字で表現することはできません。それ故に最終日には、その講師の手法で良くなられた患者様方にご登壇いただき、エビデンスとさせていただきます。

今回の講師は、元漢方交流会理事長の真鍋立夫先生です。漢方に対する熱き情熱を今も持ち続け、現在も現役で社会に貢献していらっしゃる先生です。

既に参加申し込みをなされた先生方にも、ご案内をさせて頂いております。

この合宿講習会からクラスターを出すことなく、お1人お1人の先生方が、ご自身の体調にご留意くださり、ご参加下さいます様お願い申し上げます。

申込郵便振替：口座番号 00920-4-156702 ・ 口座名義：日本漢方交流会 合宿講習会

連絡先： 日本漢方交流会 学術部 須藤 朝代

FAX：075-314-7417 ・ E-mail：nishikyougoku-yakkyoku@leto.eonet.ne.jp

研修単位シールが必要な方は申し込みの際、必ず薬剤師名簿登録番号をご記入ください。

* 宿泊部屋は主に2～3人部屋ですので、同室希望者がおありの方は振込用紙にご記入下さい。テキストを発送致しますので、振込用紙に住所を楷書でご記入ください。詳しい事、残席情報は、日本漢方交流会のホームページをご覧ください。